

埼玉県公園緑地協会 御中

申請者 川口自警団

賛同者 日本保守党 石濱哲信

日本保守党 河合ゆうすけ

戦争学研究者 上岡 龍次

Youtube かぴばらチャンネル

Xインフルエンサー airi_fact_555

高安カミュ

オオタシュン

桜乱舞

徳丸美智代

龍野布由

清家 崇

あまさわ まき

ピリエン、ユタプ、タエ、ジュン、まる

藤原氏末裔の会の藤本

さいとう

佐々木駿介

北村宗次郎

清家崇

白尾

あやきち

yu yu

H H

一代法華

かまぼこ

河合達也

mamaamam

けーしkc

山田太郎

佐藤ケバブ

埼玉県民有志

海外情報取材班

拝啓

私達日本国民は、今年県営秋ヶ瀬公園にて行われた日本クルド文化協会(ワッカス・チカン代表)主催のネウロズにおいて、親クルド政党の政治宣伝、クルド武装組織の旗や、PKK(反政府武装組織)創設者の写真などを貼った巨大掲示板の設置に対し、抗議いたします。

抗議の根拠となる写真と解説等は資料として添付いたします。

県営公園は、すべての県民が平和に利用できる公共の場であり、武装組織同調者の宣伝活動やクルド系政党の宣伝が行われるべき場所ではありません。このような行為は、公園の本来の目的を逸脱し、多くの県民に不快感を与えるものです。

過去の事例として、蕨市民公園や川口市のスキップシティ跡地ではネウロズ開催が禁止されており、川口駅前広場では政治活動に関わるものは禁止という条件付きで開催されました。

秋ヶ瀬公園は、自然環境の保全や市民のレクリエーションの提供、健康増進の場であり、外国人居住者の中の武装勢力同調者による政治宣伝を行う集会は含まれていません。

私達は、クルドの武装勢力とは無関係な日本在住のクルド人が多くいることを理解しています。しかし、クルド武装勢力に同調する者も日本国内に存在しています。そして日々、クルド人の粗暴な行為に、私達は非常に怖い思いをしています。

2024年3月20日、秋ヶ瀬公園三ツ池グラウンドで行われたネウロズでは以下の事実が確認されました。

- ・ 会場でスピーチするクルド人たちは男女共に伝統的な戦闘服を着用していました【資料写真①と②】。
- ・ 登壇したクルド人たちのスピーチには通訳がなく、日本人には理解不能でした。
- ・ 参加者の中にも戦闘服着用者が複数いました【資料写真④】。
- ・ 会場には親クルド政党DEMとシリアのクルド人政党PYDの旗が大量に飾られ、その中にはクルドの武装組織YPGの旗も掲げられていました【資料写真①と⑤】。
- ・ 親クルド政党DEMの旗が会場の舞台、上空、参加者用の巨大テントの縁などに大量に飾られていました。会場のクルド人スタッフにDEMの旗について尋ねると「そこからの支援があった」と説明されました。
- ・ 会場には巨大掲示板が設置され、反政府武装組織であるクルディスタン労働者党PKKやシリアを拠点とするクルド系武装組織PYDの旗、現在トルコで収監中のPKK創設メンバー(アブドゥッラー・オジャラン氏)の写真が掲示されていました【資料写真⑥】と解説⑨。

追記:

- ・ ネウロズを主催した日本クルド文化協会のトルコ国内資産は、トルコ政府により2023年に資産

凍結されました。

・同協会のワッカス・チカン代表とワッカス・チョーラク事務局長の両者も同年、トルコでの資産が凍結されました。これは、トルコ政府がこの団体や個人がクルディスタン労働者党(PKK) と関連していると判断したためです。

・トルコ政府公表資産凍結者のリスト

<https://www.resmigazete.gov.tr/eskiler/2023/11/20231129-7.pdf>

私たちは、ネウロズの実態を元に、2024年公園緑地協会の当初判断「開催不許可」を支持し、以下の要望をいたします。

要望:

2025年以降のネウロズ開催不許可

理由:

1. 政治活動と公園の利用目的に反する行為

- ・川口市や蕨市でのネウロズは政治活動を理由に開催が禁止されました。
- ・秋ヶ瀬公園で開催されたネウロズでは、PKK同調者が親クルド政党DEMの支援を受け、同党の旗とクルド人の武装組織の旗が大量に飾られていました。
- ・これにより、このような催事を、県民の健康増進や平和な市民生活を営む場である県営公園で行うことは不適切です。

2. 住民の反対と公共の安全

- ・2024年に住民の反対があり、公園緑地協会は開催を不許可としましたが、「集会の自由」を理由に開催が認められました。
- ・しかし、この「集会の自由」には公共の安全や秩序を維持するための制約があり、海外の反政府組織や武装組織が団結を示す集会は、公共に対する将来的な危険があります。

以上により、公園緑地協会が当初に下した不許可の判断は尊重されるべきであり、今後の開催不許可を要望します。

何卒、私たち県民の声に耳を傾けていただき、県営公園がすべての県民にとって安心して利用できる場所であり続けるよう、ご尽力いただきますようお願い申し上げます。

敬具